

令和4年度

三田市

予算編成に関する要望書

日本維新の会 三田

小山 裕久 林 政徳

令和4年度

三田市予算編成に関する要望書

日本維新の会 三田
小山 裕久 林 政徳

昨年より新型コロナウイルス感染症が全世界を覆い、世界的なパンデミックにより医療業界を筆頭に社会生活に大打撃を与えました。世界各国では都市のロックダウン、日本では緊急事態宣言や蔓延防止処置などの影響により社会は大きなダメージを受けました。

国内経済においては、飲食業や宿泊業、旅行業など特定の業種において売上げの減少など厳しい状況が続いています。しかしながら経済全体として見ると、主に製造業において海外の景気回復に牽引された業績の回復や株高による法人の利益かさ上げ効果などにより、2020年の法人税収は国の想定より3.2兆円増の11.2兆円、税収全体としては過去最高の60.8兆円記録しました。三田市におきましても令和2年度の決算も健全財政を堅持しているとの報告がありました。しかし、人口減少や新型コロナウイルス感染症による収支両面への影響は避けては通れない課題となると考えます。

三田市は、成長から成熟への転換の中で全てを受け入れ対応していくワンチームの行政を目指すべきと考え、全国からも成熟しながらも、変革し成長していく市であると認識してもらえるような街づくりを目指してもらいたいと考えます。

このような中で「身を切る政治、身を切る改革」を掲げる日本維新の会は、成熟が必要な組織運営、改革が必要な事案、分析が必要な分野等を丁寧に把握しながら将来像を見据えて目的を明確化し市民のみなさんのご理解とご協力を得ながら、森市長と共に更なる安心して暮らすことが出来、全国に誇れる町を目指してまいります。

以下に令和4年度における会派の予算編成及び施策を要望いたします。

1. 税

- (1) 行財政構造改革行動計画において市有財産等の有効活用を推進し、更なる民間企業との連携を図る。
- (2) 公募型補助金の推進により、税収の獲得を目指す。
- (3) ごみ処理事業の費用削減と増収を目指す。
- (4) 公共施設の有効利用とマネジメントの強化。

2. まちづくり

- (1) 高齢者の医療確保のための在宅医療の充実を目指す。

- (2) 賑わい作りのイベント強化。
- (3) 商工会女性部の婚活活動や民間のイベントへの充実した協力をする。
- (4) 中心市街地活性化へ向けていろんな意見を取り入れる組織を構築する。
- (5) 災害に強いまちづくりを推進する。

3. 教育・文化

- (1) 学力向上と学校職員の働き方のバランスを検討し学校の質の向上を目指す。
- (2) 子供たちと教師のかかわり方に対するコミュニケーションスキル教育。
- (3) 学力格差、体力格差をなくすための取り組みの強化。
- (4) 学校指導要領に基づき、更なる日本の良さを教育に盛り込み、学校元気アップ共育事業を活用しながら伝統を学び体験を通して広い視野を持った人材育成を目指す。
- (5) 児童生徒用タブレットPCの学校教育現場での現状を調査。
- (6) 国際交流を利用し、グローバルな人材育成を目指す。
- (7) 保育士支援事業や潜在保育士向け研修会や就職準備金による検証。
- (8) 子供の貧困対策の強化。

4. 商工観光・農業

- (1) 国の経営所得安定対策制度を活用し試験栽培や加工品への支援を継続し更なる生産拡大と販売経路の確保を目指す。
- (2) 兵庫県やJAとの連携を図りながら若者の就農者の現状と今後の課題を明確化し、若者の就農者の獲得を目指す。
- (3) 若者の起業を支援したあとのフォローと検証機能の構築。

5. 企画・総務

- (1) 誰もが尊敬し合える職場環境の構築を目指す。具体的な研修等を利用。
- (2) 庁内の事務作業効率化の更なる推進。
- (3) 民間経験者の採用による客観的な意見の取り入れと活用。
- (4) 市内定住者の増加を目指し具体的な施策の構築。

6. 医療・介護・福祉

- (1) ご当地の地域包括ケアシステムの構築を目指す。
- (2) かかりつけ医制度と総合診療科の充実。
- (3) なんでも相談窓口の充実。(医療・介護・福祉コンシェルジュ)
- (4) 提供する側と受ける側の相互理解の推進。
- (5) CCRC(多世代コミュニティー)の具体的な取り組みについての検討。
- (6) 市民のための急性期医療の確保の重要性の啓発。